

■地域保健学域 総合リハビリテーション学類 栄養療法学専攻

○カリキュラム・ポリシー

1. 幅広い教養と情報の収集・発信能力を身に付けるために、多数の教養科目や情報基礎、Academic Englishなどの共通教育科目を1～2年次に配置する。
2. 生命倫理や健康長寿について考えるために、生命倫理学や社会健康科学などの専門基礎科目を開講する。
3. 保健・医療専門職として必要な知識を習得するために、人間支援科学論やコラボレーション論などの学域・学類共通専門科目を設ける。
4. 幅広い生命科学に関する知識の習得を目的に、解剖生理学、生化学、病態生理学などの専門基礎科目を1～2年次に配置する。
5. 栄養学・食品学に関する膨大な知識や考え方について、基礎栄養学や食品科学などの基礎的な科目を1～2年次に、臨床栄養学、栄養教育論や食品衛生学などの専門性の高い科目は2～3年次に、さらに臨地実習や卒業研究などを3～4年次に配置してあり、系統立てて学ぶことができる。